

Dell U3415W

ユーザーズガイド

モデル : U3415W
規定モデル : U3415Wb



注、注意および警告



注：「注」は、コンピューターをよりよく使いこなすための重要な情報を表します。



注意：「注意」は指示に従わなければ、ハードウェアが故障する危険性、またはデータが消失する危険性を示しています。



警告：「警告」は物件損害、人的被害または死亡の危険性を表します。

著作権 © 2014-2016 Dell Inc. 複製を禁ず。

このテキストで使用される商標：Dell および DELL のロゴは Dell Inc の商標です。Microsoft および Windows は商標またはアメリカ合衆国および / またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。Intel は、米国およびその他における Intel Corporation の登録商標の国です。と ATI は Advanced Micro Devices、Inc の登録商標です。

マークおよび名称を請求する団体またはその製品を参照するために、本文書中で、その他の商標および商号を使うことがあります。Dell 社は、自社以外の商標および商号の所有権を放棄します。

目次

1	製品の特徴	5
	パッケージの内容	5
	製品の特長	7
	部品とコントロールの確認	8
	モニター仕様	11
	プラグアンドプレイ機能	21
	ユニバーサル シリアルバス (USB) インターフェース	22
	LCD モニター品質とピクセルポリシー	23
	保守のガイドライン	24
2	モニターのセットアップ	25
	スタンドを取り付ける	25
	モニターを接続する	28
	ケーブルを調整する	34
	ケーブルカバーの取り付け	34
	モニタースタンドを取り外す	35
	ケーブルカバーの取り外し	35
	壁取り付け (別売り)	36
3	モニターの操作	37
	モニターを電源オンにする	37
	前面パネルのコントロールを使う	37
	オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの使用	39
	最大解像度を設定する	57
	傾け、旋回させ、垂直に伸ばす	58
4	問題を解決する	60
	自己テスト	60
	内蔵診断	61
	よくある問題	62
	製品特有の問題	64
	ユニバーサル シリアルバス (USB) 特有の問題	65
	Mobile High-Definition Link (MHL) 特有の問題	66
	スピーカー特有の問題	66

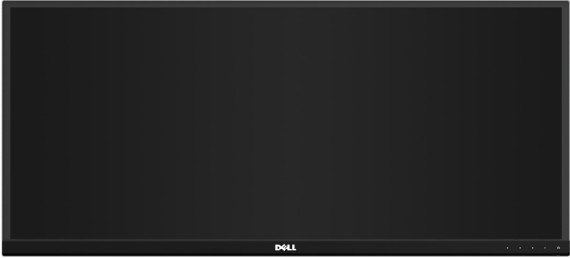
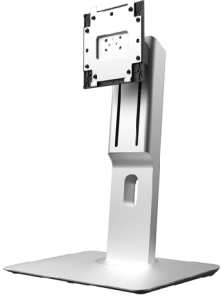

5 付録	67
米国連邦通信委員会 (FCC) 通告 (米国内のみ)	
およびその他規制に関する情報.....	67
Dell へのお問い合わせ.....	67
モニターのセットアップ.....	68

製品の特徴

パッケージの内容

モニターには、以下に示すコンポーネントがすべて付属しています。コンポーネントがすべて揃っているかを確認し、コンポーネントが足りないときは [Dell へのお問い合わせ](#)。

- 注：一部のアイテムはオプションで、モニターに付属していません。機能またはメディアには、特定の国で使用できないものもあります。
- 注：その他のスタンドをご購入頂いた際は、スタンドの設置方法はスタンドセットアップガイドをご参照ください。

	モニター
	スタンド
	ケーブルカバー

	<p>電源ケーブル（国により異なります）</p>
	<p>HDMI ケーブル</p>
	<p>DP ケーブル（Mini-DP から DP）</p>
	<p>USB 3.0 アップストリームケーブル（モニターの USB ポートを有効にします）</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ● ドライバとマニュアルメディア ● クイック セットアップガイド ● 出荷時較正レポート ● 安全、環境および規制情報

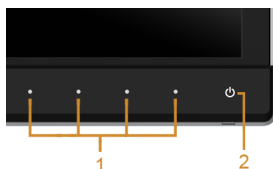
製品の特長

Dell U3415W フラットパネル ディスプレイにはアクティブマトリックス、薄膜トランジスタ (TFT)、液晶ディスプレイ (LCD) および LED バックライトが搭載されています。モニターの機能は、以下のようになっています：

- 86.5 cm (34 インチ) 表示可能領域のディスプレイ (対角で測定)。3440 x 1440 解像度、低解像度の場合全画面もサポートしています。
- 広い表示角度により、座った位置からでも立った位置からでも、または横に動きながらでも見ることができます。
- チルト、スイベル、垂直引き伸ばし調整機能。
- マルチ モニター使用時に美しさを損なわないように、溝を非常に薄くすることで溝のギャップをできるだけ小さくしています。
- 取り外し可能なスタンドと VESA™ (ビデオエレクトロニクス規格協会) 100 mm 取り付け穴で柔軟な取付が可能。
- DisplayPort、mini DisplayPort、HDMI 2.0、MHL、USB 3.0 によるすべてのデジタル接続機能が、今もそしてこれからもモニターの性能を保証。
- USB アップストリーム ポート x 2 個および USB ダウンストリーム ポート x 4 個装備。
- 平均デルタ E をもつ 99% sRGB の色域 ≤ 3。
- オンスクリーン ディスプレイ (OSD) 調整で、セットアップと画面の最適化が容易。
- ソフトウェアとマニュアルメディアには、情報ファイル (INF)、画像カラーマッチングファイル (ICM)、および製品マニュアルが含まれています。
- Dell Display Manager ソフトウェア付属 (モニターに付属の CD に同梱されています)。
- セキュリティ ロック スロット。
- スタンドロック。
- 広角表示から標準表示に、画像の品質を保ちながら切り替える機能。
- U3415W モニターは、外付けケーブルを除き BFR/PVC が含まれていません (ハロゲンを含まない)。
- TCO 認証ディスプレイ。
- NFPA 99 リーク電流基準に一致。
- パネルのみ無ヒ素ガラスかつ無水銀です。
- ハイダイナミック コントラスト率 (2,000,000:1)。
- スリープモード時には 0.5 W スタンバイ電源になります。
- 電源ゲージはモニターが消費している電力レベルをリアルタイムで見ることができます。
- ピクチャーバイピクチャ (PBP) およびピクチャインピクチャ (PIP) 選択モード対応。

部品とコントロールの確認

正面図



前面パネルのコントロール

ラベル	説明
1	機能ボタン（詳細は、 モニターの操作 を参照してください）
2	電源オン/オフ ボタン（LED インジケータ付き）

背面図



背面図（モニターのスタンド付き）

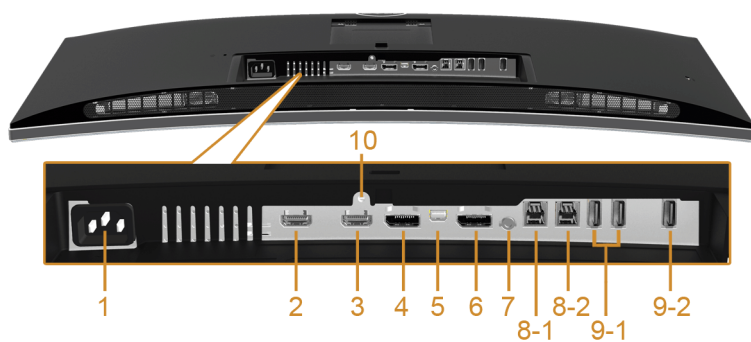
ラベル	説明	使用
1	VESA 取り付け穴（100 mm x 100 mm - 接続された VESA カバーの背面）	VESA 互換の壁取付キットを使う壁取付モニター（100 mm x 100 mm）。
2	規制ラベル	規制承認を表示します。
3	スタンドリリースボタン	スタンドをモニターから外します。
4	セキュリティ ロックスロット	セキュリティ ロックでモニターを固定します（セキュリティ ロックは含まれません）。
5	バーコード シリアル番号ラベル	技術サポートを受けるには Dell に連絡してください。
6	USB ダウンストリームポート*	USB デバイスをこの USB 充電ポートに接続（デバイスが BC1.2 対応の場合、高速充電を行います）。このコネクタは、USB ケーブルをコンピューターと、モニターの USB アップストリームケーブルに接続した後にのみ利用できます。
7	ケーブル管理スロット	ケーブルをスロットに通してケーブル類を整理するために使います。

* いつでも使える場合は、ワイヤレス USB デバイスはこのポートに繋ぐことをお勧めします。

側面図



底面図



モニタースタンドなし底面図

ラベル	説明	使用
1	AC 電源コード コネクタ	電源ケーブルを接続してください。
2	MHL ポート コネクタ	MHL デバイスに MHL ケーブルを接続してください。

3	HDMI ポート コネクタ	コンピューターに HDMI ケーブルを接続してください。
4	DisplayPort イン コネクタ	コンピューターに DP ケーブルを接続してください。
5	Mini DisplayPort イン コネクタ	Mini-DP 対 DP ケーブルでコンピューターを接続してください。
6	DisplayPort アウト (MST) コネクタ	MST (マルチストリームトランスポート) 対応モニター用 DisplayPort 出力。DP 1.1 モニターは MST チェーンの最後のモニターとしてのみ接続可能です。MST を有効にするには、セクション「 DP MST (マルチストリームトランスポート) 機能用のモニターを接続します 」の指示を参照してください。
7	オーディオ出力	スピーカーを接続してください*。
8 (1、2)	USB アップストリーム ポート	モニターに付いてきた USB ケーブルをモニターとコンピューターに接続してください。接続すると、モニターにある USB 接続を使用できます。
9 (1、2)	USB ダウンストリーム ポート	USB デバイスを接続してください。このコネクタは、USB ケーブルをコンピューターと、モニターの USB アップストリームコネクタに接続した後にのみ利用できます。**
10	スタンドのロック機能	M3 x 6 mm ネジを使ってスタンドをモニターにロックする (ネジは含まれていません)。

* オーディオ出力コネクタでは、ヘッドフォンを使用することはできません。

** いつでも使えるときには、ワイヤレス USB デバイスは後ろ側にあるポート (9-2) か USB ダウンストリーム ポートに繋ぐことをお勧めします。

モニター仕様

フラットパネル仕様

モデル	U3415W
スクリーンタイプ	有効マトリックス - TFT LCD
パネルタイプ	In Plane Switching
表示可能画像	
対角	865.56 mm (34.08 インチ)
水平、アクティブエリア	798.20 mm (31.43 インチ)
垂直、アクティブエリア	334.80 mm (13.18 インチ)
エリア	267237.36 mm ² (414.22 インチ ²)

ピクセル ピッチ	0.2325 mm x 0.2325 mm
表示角度	178° (垂直) 標準 172° (水平) 標準
ルミナンス出力	300 cd/m ² (標準)
コントラスト比	1000 対 1 (標準) 2M 対 1 (典型的な動的コントラスト オン)
面板コーティング	硬度 3H の抗グレア
バックライト	LED エッジライト方式
応答時間	通常モードでは 8 ms (標準) 高速モードでは 5 ms (標準)
色の深さ	10.74 億色
色域	CIE1976 (91%)、CIE 1931 (76%)、sRGB 適用範囲は 99%

解像度仕様

モデル	U3415W
水平走査幅	30 kHz ~ 89 kHz (自動)
垂直走査幅	48 Hz ~ 85 Hz (自動)
事前設定の最高解像度	60 Hz で 3440 x 1440

ビデオのサポートモード

モデル	U3415W
ビデオディスプレイ機能 (HDMI & DP 再生)	480p、480i、576p、720p、1080p、576i、1080i

事前設定ディスプレイ モード

ディスプレイ モード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	周波数 (MHz)	同期極 (水平 / 垂直)
VESA、720 x 400	31.5	70.1	28.3	-/+
VESA、640 x 480	31.5	60.0	25.2	-/-
VESA、640 x 480	37.5	75.0	31.5	-/-
VESA、800 x 600	37.9	60.3	40.0	+/+
VESA、800 x 600	46.9	75.0	49.5	+/+
VESA、1024 x 768	48.4	60.0	65.0	-/-

VESA、1024 x 768	60.0	75.0	78.8	+/+
VESA、1152 x 864	67.5	75.0	108.0	+/+
VESA、1280 x 800	49.3	60.0	71.0	+/-
VESA、1280 x 1024	64.0	60.0	108.0	+/+
VESA、1280 x 1024	80.0	75.0	135.0	+/+
VESA、1600 x 1200	75.0	60.0	162.0	+/+
VESA、1920 x 1080	67.5	60.0	148.5	+/+
VESA、2560 x 1440	88.8	60.0	241.5	+/-
VESA、3440 x 1440	73.7	50.0	265.3	+/+
VESA、3440 x 1440	88.8	60.0*	319.8	+/-


* グラフィックカードが HDMI 2.0 に対応していなければなりません。

MHL ソースのディスプレイ モード

ディスプレイ モード*	周波数 (Hz)
640 x 480p	60
720 x 480p	60
720 x 576p	50
1280 x 720p	60
1280 x 720p	50
1920 x 1080i	60
1920 x 1080i	50
1920 x 1080p	30
1920 x 1080p	60
1920 x 1080p	50
720 (1440) x 480i	60
720 (1440) x 576i	50

MST マルチストリームトランスポート (MST) モード

MST ソース モニター	外部モニターの最大数をサポート	
	60 Hz で 3440 x 1440	60 Hz で 1920 x 1080
60 Hz で 3440 x 1440	1	2

 **注：**マルチストリーム トランスポート モードは、DP 1.2 でしか使用できません。詳細は、[DP MST \(マルチストリームトランスポート\) 機能用のモニターを接続します](#)を参照してください。

電氣的仕様

モデル	U3415W
ビデオ入力信号	<ul style="list-style-type: none">各差動経路用デジタルビデオ信号。差動経路につき、100 オームインピーダンス。DP 1.2*/HDMI 2.0**/MHL 2.0 信号入力サポート
AC 入力電圧 / 周波数 / 電流	100 VAC から 240 VAC / 50 Hz または 60 Hz \pm 3 Hz / 1.5 A (標準)
インラッシュ電流	<ul style="list-style-type: none">120 V : 40 A (最大) (0°C で) (コールドスタート)240 V : 80 A (最大) (0°C で) (コールドスタート)

* HBR2、MST、DP オーディオを含め、DP 1.2 仕様をサポートします。

** HDMI Ethernet Channel (HEC)、Audio Return Channel (ARC)、3D フォーマットの規格および解像度など、HDMI オプション仕様には対応していません。

スピーカーの仕様

モデル	U3415W
スピーカー	2 x 9.0 W
周波数応答	100 Hz - 20 kHz
インピーダンス	8 オーム

物理特性

モデル	U3415W
コネクタ タイプ	DP、黒コネクタ（DP インおよび DP アウトを含む）、Mini DisplayPort、HDMI、MHL、USB 3.0
信号ケーブルタイプ	<ul style="list-style-type: none">• デジタル：取外可能、HDMI、19 ピン• デジタル：取外可能、MHL、19 ピン• デジタル：取外可能、Mini-DP 対 DP、20 ピン• USB：取外可能、USB、9 ピン
寸法（スタンド付き）	
最高（引き伸ばし時）	523.7 mm（20.62 インチ）
最高（圧縮）	408.7 mm（16.09 インチ）
幅	824.7 mm（32.47 インチ）
奥行き	216.0 mm（8.50 インチ）
寸法（スタンドなし）	
高さ	372 mm（14.65 インチ）
幅	824.7 mm（32.47 インチ）
奥行き	73.3 mm（2.89 インチ）
スタンド寸法	
最高（引き伸ばし時）	418.0 mm（16.46 インチ）
最高（圧縮）	370.8 mm（14.60 インチ）
幅	245.0 mm（9.65 インチ）
奥行き	216.0 mm（8.50 インチ）
重量	
重さ（パッケージ含む）	17.50 kg（38.56 lb）
重さ（スタンドアセンブリとケーブルを含む）	11.25 kg（24.80 lb）
重さ（スタンドアセンブリなし） （壁取付または VESA 取付用 - ケーブルなし）	8.44 kg（18.60 lb）
スタンドアセンブリの重さ	2.36 kg（5.20 lb）
フロントフレーム（ツヤあり）	8%-13% グロスユニット

環境特性

モデル	U3415W
温度	
運転時	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
非運転時	• ストレージ: -20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F) • 輸送時: -20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)
湿度	
運転時	10% ~ 80% (結露しないこと)
非運転時	• ストレージ: 5% ~ 90% (結露しないこと) • 輸送時: 5% ~ 90% (結露しないこと)
高度	
運転時	5,000 m (16,404 ft) (最大)
非運転時	12,192 m (40,000 ft) (最大)
熱発散	• 443.58 BTU/時 (最大) • 187.67 BTU/時 (標準)

電源管理モード

VESA DPM™ 準拠ディスプレイカードまたは PC 上でインストールしたソフトウェアを使った場合、モニターは、未使用時に、自動的に電源消費の省力を行います。これを、「省電力モード*」と呼びます。コンピューターがキーボード、マウス、またはその他の入力デバイスから入力を検出すると、モニターは自動的に機能を再開します。次の表は、この自動省電力機能の電源消費と信号を表したものです。

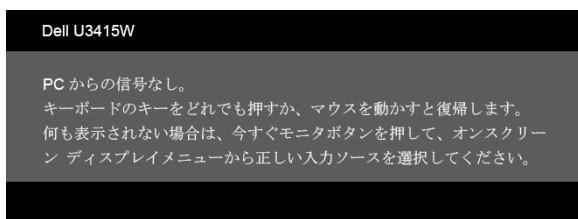
VESA モード	水平同期	垂直同期	ビデオ	電源インジケータ	電源消費
通常運転	有効	有効	有効	白色	130 W (最大) ** 55 W (標準)
無効モード	無効	無効	空白	白色 (濃い)	0.5 W 以下
スイッチを切る	-	-	-	オフ	0.5 W 以下

* オフモードでのゼロ電源消費は、モニターからのメインケーブルを外してはじめて、有効になります。

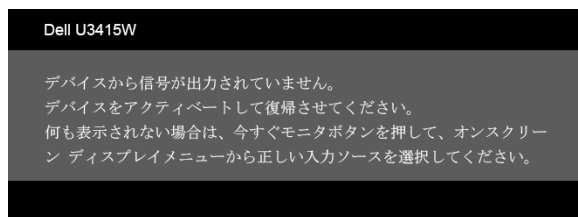
** 最大消費電力は最大輝度および USB と積極的な測定され。

OSD は、通常の動作モードでのみ機能します。アクティブオフモードでどれかのボタンを押すと、次のメッセージが表示されます：

HDMI/MHL/Mini DisplayPort/DP 入力



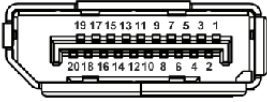
HDMI/MHL 入力



コンピューターがアクティブになり、モニターで OSD にアクセスできるようになります。

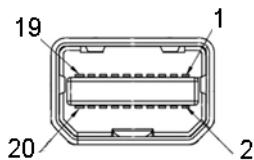
ピン割当

DisplayPort コネクタ



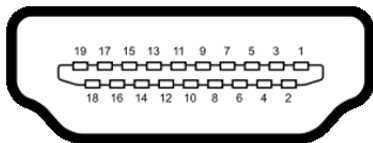
ピン数	接続した信号ケーブルの 20 ピン側
1	ML0(p)
2	GND
3	ML0(n)
4	ML1(p)
5	GND
6	ML1(n)
7	ML2(p)
8	GND
9	ML2(n)
10	ML3(p)
11	GND
12	ML3(n)
13	GND
14	GND
15	AUX(p)
16	GND
17	AUX(n)
18	GND
19	Re-PWR
20	+3.3 V DP_PWR

Mini DisplayPort コネクタ



ピン数	接続した信号ケーブルの 20ピン側
1	GND
2	ホットプラグ検出
3	ML3(n)
4	GND
5	ML3(n)
6	GND
7	GND
8	GND
9	ML2(n)
10	ML0(p)
11	ML2(p)
12	ML0(p)
13	GND
14	GND
15	ML1(n)
16	AUX(p)
17	ML1(p)
18	AUX(n)
19	GND
20	+3.3 V DP_PWR

HDMI コネクタ



ピン数	接続した信号ケーブルの 19 ピン側
1	TMDS データ 2+
2	TMDS データ 2 シールド
3	TMDS データ 2-
4	TMDS データ 1+
5	TMDS データ 1 シールド
6	TMDS データ 1-
7	TMDS データ 0+
8	TMDS データ 0 シールド
9	TMDS データ 0-
10	TMDS クロック +
11	TMDS クロックシールド
12	TMDS クロック -
13	CEC
14	予約済み (デバイスの N.C.)
15	DDC クロック信号 (SCL)
16	DDC データ (SDA)
17	DDC/CEC 接地
18	+5V 電源
19	ホットプラグ検出

MHL コネクター




ピン数	接続した信号ケーブルの 19 ピン側
1	TMDS データ 2+
2	TMDS データ 2 シールド
3	TMDS データ 2-
4	TMDS データ 1+
5	GND
6	TMDS データ 1-
7	MHL+
8	TMDS データ 0 シールド
9	MHL-
10	TMDS クロック +
11	GND
12	TMDS クロック -
13	CEC
14	予約済み (デバイスの N.C.)
15	DDC クロック信号 (SCL)
16	DDC データ (SDA)
17	GND
18	VBUS (+5 V、最大 900 mA)
19	CBUS

プラグ アンド プレイ 機能


プラグ アンド プレイ 互換システムで、モニターをインストールすることができます。モニターがディスプレイ データ チャンネル (DDC) プロトコルを使って、コンピューターシステムに拡張ディスプレイ 特定データ (EDID) を自動的に提供するため、システムが、自己設定により、モニター設定を最適化します。ほとんどのモニターインストールは自動で行われます。必要に応じて異なる設定を選択できます。モニター設定の変更の詳細については、[モニターの操作](#)を参照してください。

ユニバーサル シリアル バス (USB) インターフェース

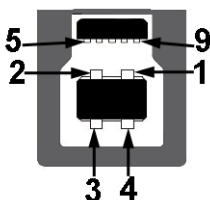
本項では、モニターで使用できる USB ポートについて説明します。

 **注：**このモニターは Super-Speed USB 3.0 互換です。

転送速度	データ率	電源消費 *
Super-speed	5 Gbps	4.5 W (最大、各ポート)
高速	480 Mbps	4.5 W (最大、各ポート)
全速度	12 Mbps	4.5 W (最大、各ポート)

* BC1.2 準拠デバイスまたは標準の USB デバイスの USB ダウンストリームポート ( の稲妻アイコンの付いたポート) で最大 2A。

USB アップストリームコネクタ




ピン数	9 ピン (コネクタの側面に表示)
1	VCC
2	D-
3	D+
4	GND
5	SSTX-
6	SSTX+
7	GND
8	SSRX-
9	SSRX+


USB ダウンストリームコネクタ




ピン数	9 ピン (コネクタの側面に表示)
1	VCC
2	D-
3	D+
4	GND
5	SSRX-
6	SSRX+
7	GND
8	SSTX-
9	SSTX+

USB ポート

- 2 アップストリーム - 後方
- 4 ダウンストリーム - 後方
- 充電ポート -  アイコンがついたポート。BC1.2 互換機器使用時に高速充電に対応。

 **注：**USB 3.0 機能には USB 3.0 対応のコンピューターが必要です。

 **注：**モニターの USB インターフェイスは、モニターがオンのとき、または省電力モードに入っているときにのみ作動します。モニターをオフにしてから再びオンにすると、接続された周辺機器は数秒後に通常の機能を回復します。

LCD モニター品質とピクセルポリシー

LCD モニターの製造プロセスにおいて、いくつかのピクセルが特定の状態に固定されることはよくあります。見つけにくく、表示品質および使い勝手に影響しません。Dell 社のモニターの品質とピクセルに関する方針の詳細、詳細については、Dell サポート (<http://www.dell.com/support/monitors>) を参照してください。

保守のガイドライン

モニターを洗淨する



注意：モニターの洗淨前には、**安全指示**を読み、その指示に従ってください。



警告：モニターの洗淨前には、**電源コンセントからモニター電源ケーブルを外してください。**

最高の性能を引き出すために、モニターを開梱、洗淨、または操作している間、以下のリストの指示に従ってください：

- 静電気防止スクリーンを洗淨するには、柔らかい、きれいな布を水で軽く湿らせてください。できれば、特殊スクリーン洗淨ティッシュまたは静電気防止コーティングに適して溶液を使用してください。ベンゼン、シンナー、アンモニア、研磨クリーナー、または圧縮空気は使用しないでください。
- めるま湯で軽く湿らせた布を使用して、モニターを洗淨します。合成洗剤によりモニターの乳白色のフィルムがはがれることがあるため、合成洗剤の使用は避けてください。
- モニターの梱包を開けている間に白いパウダーにお気づきになりましたら、布で拭き取ってください。
- 暗いプラスチックは、明るいモニターより白いカフマークを削り、表示するため、モニターの取り扱いには注意してください。
- モニターの画像品質を最高の状態に保つために、スクリーンセーバーを作動し、使用しないときはモニターの電源をオフにしてください。

モニターのセットアップ

スタンドを取り付ける



注：モニターを工場から出荷するときは、スタンドを取外します。



注：これはスタンド付モニターに適用されます。その他のスタンドをご購入頂いた際は、スタンドの設置方法はスタンドセットアップガイドをご参照ください。



注意：スタンドを付けるまでは、パッケージからモニターを取り出さないでください。

モニタースタンドを取り付けるには：

- 1 箱のふた部分に記載された指示に従って、スタンドを保護しているクッション材を取り外してください。
- 2 図に示すとおり、カバーを開けるとスタンドアセンブリの VESA 部分が現れます。



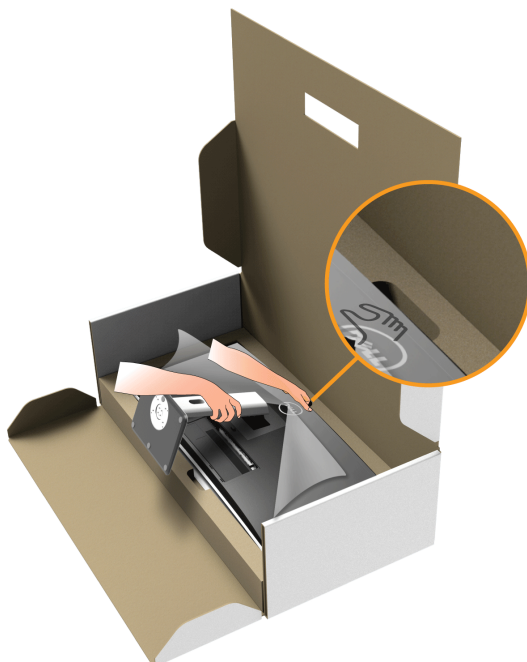
- 3 スタンドアセンブリをモニターに取り付けます。
- a モニター背面の溝をスタンド上部の2つのタブに合わせます。
 - b スタンドを押して、はめ込んでください。



4 モニターをまっすぐに設置します。

- a 下側のクッションに切り込み口に片手を差し込み、もう片方の手でスタンドをつかみます。
- b モニターが滑ったり、落ちたりしないように、そっと持ち上げてください。



△ 注意：モニターを持ち上げるときには、パネルスクリーンを強く押さないようにしてください。



5 モニターからカバーを外します。



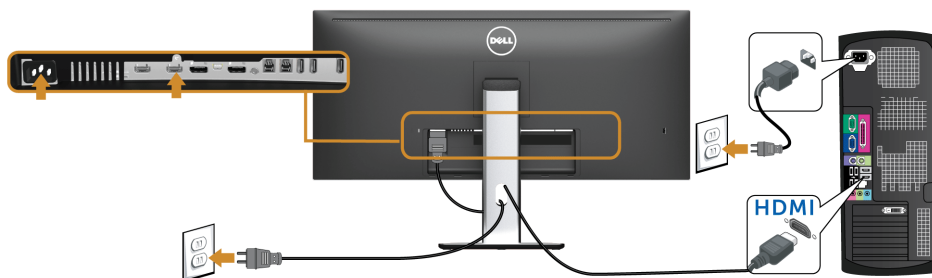
モニターを接続する

-  **警告：** このセクションで手続きをはじめる前に、**安全指示**に従ってください。
-  **注：** すべてのケーブルを同時にコンピューターに接続しないでください。

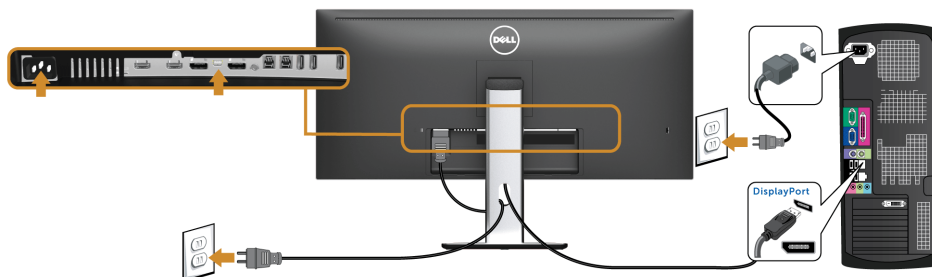
モニターをコンピューターに接続する：

- 1 コンピューターの電源をオフにして、電源ケーブルを外します。
モニター DP/Mini-DP 対 DP/HDMI ケーブルをユーザーのコンピューターにつなぎます。

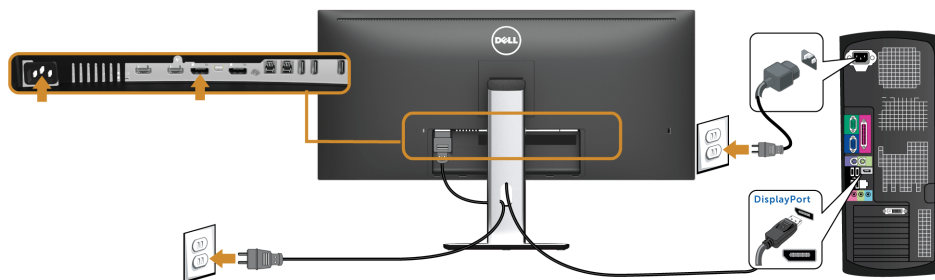
HDMI ケーブルの接続



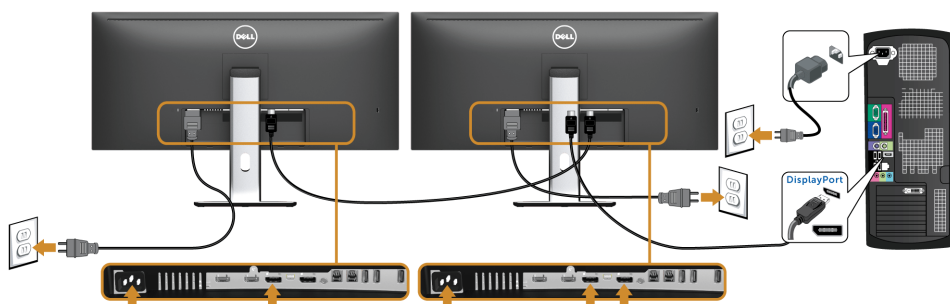
黒い DisplayPort (Mini-DP 対 DP) ケーブルの接続



黒い DisplayPort (DP 対 DP) ケーブルの接続



DP MST (マルチストリームトランスポート) 機能用のモニターを接続します



注： U3415W は DP MST 機能をサポートします。この機能を使用するには、PC グラフィックスカードが MST オプションで DP 1.2 に認証されている必要があります。

U3415W の工場出荷時のデフォルト設定は DP 1.1a です。

MST 接続を有効にするには、ボックスに付属する DP ケーブルのみ（または、他の DP 1.2 認定ケーブル）を使用して、以下のステップを実行することで DP 設定を DP 1.2 に変更します。

A) モニターはコンテンツを表示できます

- 1 OSD ボタンを使用して「ディスプレイ」にナビゲートします。
- 2 DP 1.2 選択に移動します。




- 3 それに従ってオンまたはオフを選択します。
- 4 画面のメッセージに従って、DP 1.2 または DP 1.1a の選択を確認します。

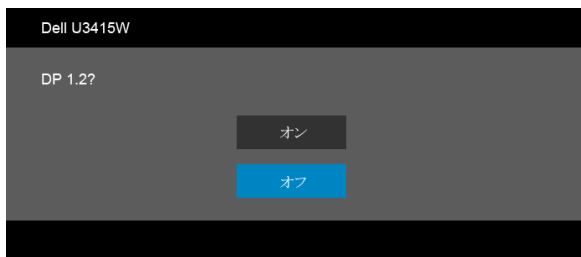




B) モニターはコンテンツを表示できません（ブランクの画面）

- 1  と  ボタンを使用して、DP または mDP をハイライトします。




- 2  ボタンを約 8 秒間押し続けます。
- 3 DisplayPort 構成メッセージが表示されます：




- 4  ボタンを使用して DP 1.2 または  ボタンを有効にして変更せずに終了します。

上記ステップを繰り返し、必要に応じて設定を DP 1.1a に変更します。

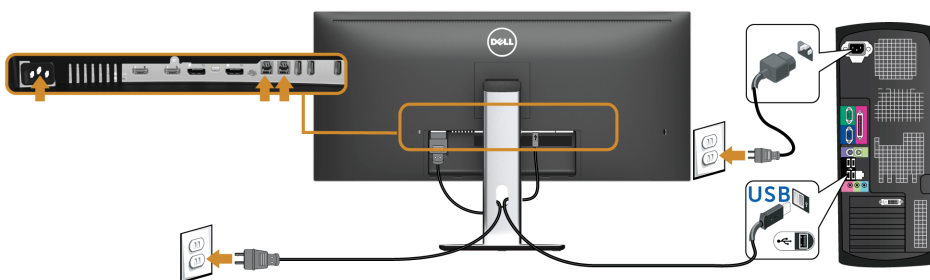
 **注意：**画像は、実例を示す目的で使用されます。コンピューターの外観は変わることがあります。

USB 3.0 ケーブルを接続する

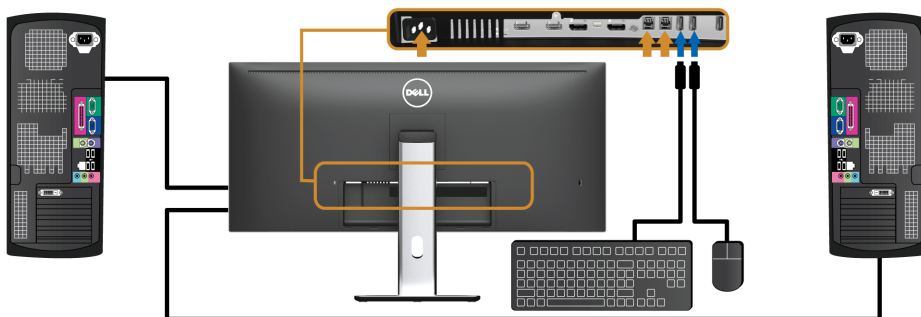
 **注：**データの破損や損失を防止するために、USB アップストリームポートを変更する前に、モニターの USB アップストリームポートに接続されているコンピューターが USB ストレージデバイスを使用していないことを確認してください。

Mini-DP 対 DP/DP/HDMI ケーブルに完全に接続したら、以下の手順に従って USB 3.0 ケーブルをコンピューターに接続し、モニターのセットアップを完了してください：

- 1 a. 1 台のコンピューターを接続する場合：アップストリーム USB 3.0 ポートをコンピューターの USB 3.0 ポートに接続します（付属ケーブルを使用）。
b. 2 台のコンピューターを接続する場合*：アップストリーム USB 3.0 ポートと 2 台のコンピューターの USB 3.0 ポートを繋ぎます。次に、OSD メニューで 2 つの USB アップストリーム ソースと入力ソースを選択します。PBP の切り換えを参照してください。
- 2 USB 3.0 周辺機器をモニターのダウンストリーム USB 3.0 ポートに接続します。
- 3 コンピューターとモニターの電源ケーブルを近くのコンセントに差し込みます。



a. 1 台のコンピューターを接続する場合







b. 2 台のコンピューターを接続する場合

* 2 台のコンピューターをモニターに繋ぐ場合、OSD メニューから USB 選択設定を変更することで、モニターについているキーボードとマウス用の USB ダウンストリームポートに 2 台のコンピューターとは別の入力信号を割り当てることができます。（詳細は、[USB 選択](#)を参照してください）。

- 4 モニターおよびコンピューターの電源をオンにします。
モニターに画像が表示されたら、インストールは完了します。画像が表示されない場合は、[ユニバーサル シリアル パス \(USB\) 特有の問題](#)を参照してください。
- 5 モニタースタンドのケーブルホルダーを使ってケーブルを整理してください。

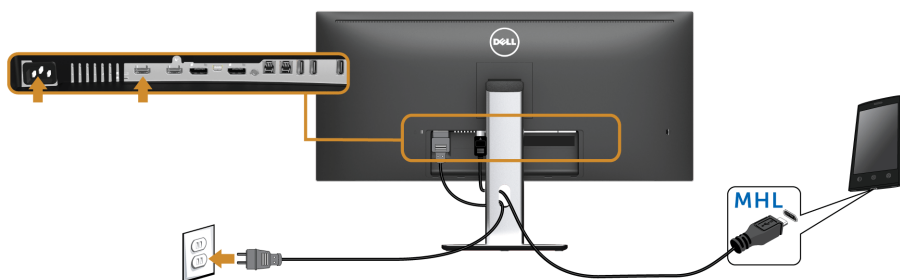
Mobile-High Definition Link (MHL) を使う

-  **注：**このモニターは MHL 認証を受けています。
-  **注：**MHL 機能を使用する場合は、MHL 出力に対応した MHL 認証を受けたケーブルとソース デバイスだけをご使用ください。
-  **注：**MHL ソースデバイスによっては、画像を出力するのに数秒またはそれ以上かかる場合があります。
-  **注：**接続した MHL ソースデバイスがスタンバイモードに入ると、MHL ソースデバイスの出力によっては、モニターの画面が黒くなったり、あるいは次のようなメッセージを表示したりします。



MHL 接続を有効にするには、次の手順に従ってください：

- 1 モニターの電源ケーブルをコンセントに繋ぎます。
- 2 MHL ソースデバイスの (micro) USB ポートとモニターの MHL ポートを MHL 認証ケーブルで繋ぎます (詳細は、[底面図](#)参照)。
- 3 モニターと MHL ソースデバイスの電源を入れます。




- 4 OSD メニューを使って、モニターの入力ソースを MHL に設定します (詳細は、[オンスクリーンディスプレイ \(OSD\) メニューの使用](#)参照。)
- 5 画像が表示されない場合は、[Mobile High-Definition Link \(MHL\) 特有の問題](#)を参照してください。

ケーブルを調整する



モニターおよびコンピューターに必要なケーブルすべてを取り付けた後、(ケーブルの取り付けについては、[モニターを接続する](#)を参照してください) 上記のとおり、ケーブル管理スロットを使って、すべてのケーブルを適切に調整します。

ケーブルカバーの取り付け

 **注：**モニターは、ケーブルカバーが外された状態で出荷されます。

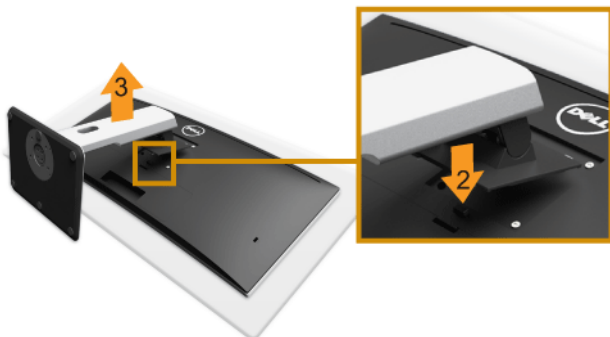


- 1 モニター背面の溝をケーブルカバーの底の2つのタブに合わせます。
- 2 ケーブルカバーを閉じます。カチッと音がするはずですが。

モニタースタンドを取り外す

注：スタンドを取り外す間は、曲面になった LCD 画面に傷が付かないように、モニターは必ず柔らかく、きれいな発砲材の上に置くようにしてください。画面に硬い物が触れると故障の原因となります。

注：これはスタンド付モニターに適用されます。その他のスタンドをご購入頂いた際は、スタンドの設置方法はスタンドセットアップガイドをご参照ください。



スタンドを取り外すには：

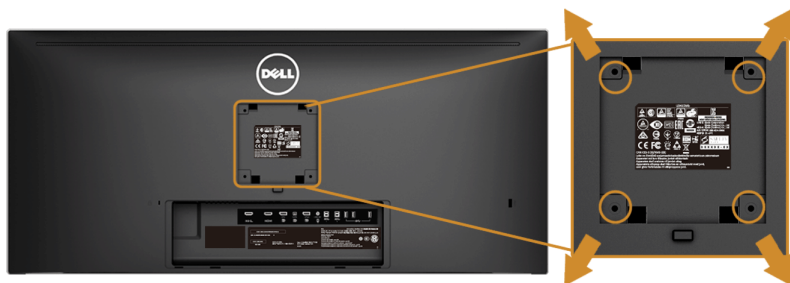
- 1 柔らかい布またはクッションの上にモニターを置きます。
- 2 スタンドリリース ボタンを押し下げます。
- 3 スタンドを持ち上げ、モニターから離します。

ケーブルカバーの取り外し



- 1 ケーブルカバーのつまみを押さえます。
- 2 ケーブルカバーの下部分にある 2 個のつまみをモニター背面の溝から外します。

壁取り付け（別売り）



（ネジの寸法：M4 x 10 mm）。

VESA 互換壁取り付けキットに付いている使用説明書を参照してください。


- 1 モニターのパネルを、安定した平らなテーブルの軟らかい布またはクッションの上に置きます。
- 2 スタンドを外します。
- 3 プラスドライバーを使って、プラスチックカバーを固定している4つのネジを外します。
- 4 壁取り付けキットのブラケットをモニターに取り付けます。
- 5 壁取り付けキットに付いている使用説明書に従って、壁にモニターを取り付けます。

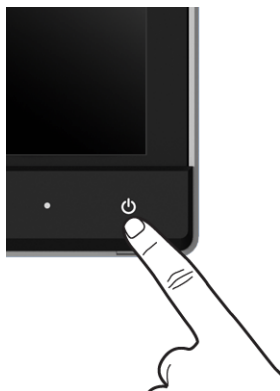


注：8.8 kg の最小重量 / 負荷支持強度を持つ UL 指定の壁取り付けブラケットでのみ使用できます。

モニターの操作

モニターを電源オンにする

 ボタンを押してモニターをオンにします。








前面パネルのコントロールを使う

モニター前面のコントロールボタンを使用して、表示されている画像の特性を調整します。これらのボタンを使用して調整を行うとき、OSD に変更される特性の数値が表示されます。

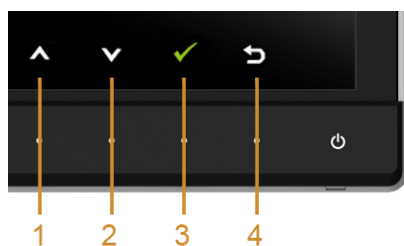



正面パネルのボタンについては、次の表にまとめてあります：




正面パネルボタン	説明
1  ショートカットキー/ 音量	「音量」レベルバーを直接操作できます。
2  ショートカットキー/ 入力信号	このボタンを使って「入力信号」メニューに直接アクセスできます。
3  メニュー	「メニュー」ボタンを使ってオンスクリーンディスプレイ (OSD) を起動し、OSD メニューを選択します。 メニューシステムにアクセスする を参照してください。
4  終了	このボタンを使ってメインメニューに戻るか、OSD メインメニューを終了します。
5  電源 (電源ライトインジケータ付き)	「電源」ボタンを使ってモニターの電源のオン / オフを切り替えます。 白いライトが点灯しているときには、モニターが完全に機能していることを示しています。濃い白いライトは、省電力モードに入っていることを示しています。

正面パネルボタン

モニターの正面にあるボタンを押して、画像設定を調整してください。





正面パネルボタン	説明
1  上	「上」ボタンを押すと、OSD メニューのアイテムを調整できます (範囲を広げます)。

2	 下	「下」ボタンを押すと、OSDメニューのアイテムを調整できます（範囲を狭めます）。
3	 OK	「OK」ボタンを押して、選択内容を確定します。
4	 戻る	「戻る」ボタンを使用すると、前のメニューに戻ります。

オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの使用

メニューシステムにアクセスする

 **注：**設定を変えてから別のメニューに進んだり OSD メニューを終了したりすると、モニターはこれらの変更を自動的に保存します。設定を変更してから OSD メニューが消えるのを待っても、変更は保存されます。

-  ボタンを押して OSD メニューを起動し、メインメニューを表示します。

デジタル (HDMI/MHL) 入力用のメインメニュー



または






デジタル (mDP) 入力用のメインメニュー







または

デジタル (DP) 入力用のメインメニュー



- 2  と  ボタンを押して、設定オプション間を移動します。あるアイコンから別のアイコンに移動すると、オプション名がハイライト表示されます。モニターで利用できるすべてのオプションについては、次の表を参照してください。
- 3  ボタンを一度押すと、ハイライトされたオプションが有効になります。
- 4  と  ボタンを押して、目的のパラメーターを選択します。

- 5  を押してスライダーに入り、メニューのインジケーターに従って  と  ボタンを使い変更を行います。
- 6  ボタンを選択してメインメニューに戻ります。

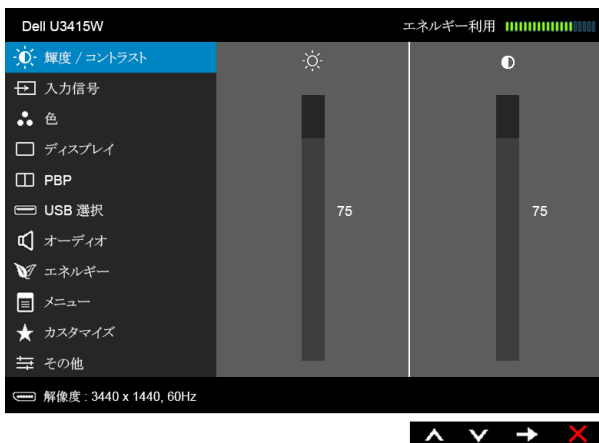
アイコン メニューとサブメニュー

説明





輝度/コントラスト

このメニューを使って「**輝度/コントラスト**」調整を有効にします。



輝度



「**輝度**」は、バックライトの輝度を調整します。

輝度を上げるには  ボタンを押します。輝度を下げるには  ボタンを押します（最小 0/ 最大 100）。

注：「動的コントラスト」がオンになっているときには、手動で「**輝度**」を調整することはできません。

コントラスト

まず「**輝度**」を調整し、それでも調整が必要な場合のみ「**コントラスト**」を調整します。

 ボタンを押してコントラストを上げ、 ボタンを押してコントラストを下げます（最小 0/ 最大 100）。

「**コントラスト**」機能は、モニターの画面の暗い部分と明るい部分の違いの程度を調整します。





入力信号


「入力信号」メニューを使って、モニターに接続されたさまざまなビデオ信号を選択します。



DP DisplayPort (DP) コネクタを使用しているとき、「**DP**」入力を選択します。 を押して DisplayPort 入力ソースを選択します。

mDP Mini DisplayPort (mDP) コネクタを使用しているとき、「**mDP**」入力を選択します。 を押して Mini DisplayPort 入力ソースを選択します。

HDMI HDMI コネクタを使用しているとき、「**HDMI**」入力を選択します。 を押して HDMI 入力ソースを選択します。

MHL MHL コネクタを使用しているとき、「**MHL**」入力を選択します。 を押して、MHL 入力ソースを選択します。



色

「色」を使って色設定モードを調整します。

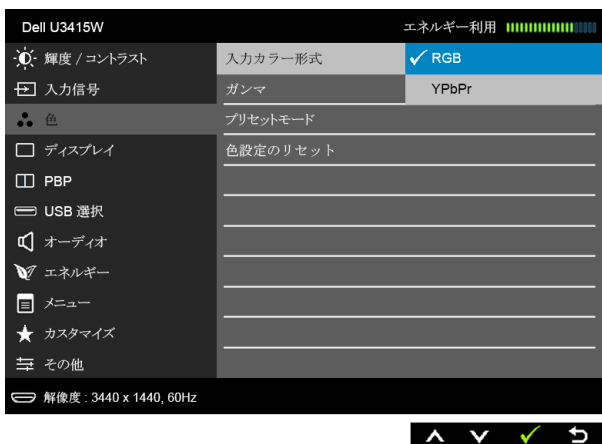


入力カラー形式 ビデオ入力モードを次のように設定できます。

RGB : HDMI ケーブル（または DisplayPort ケーブル）を使ってモニターをコンピューター（または DVD プレーヤー）に接続している場合は（MHL デバイスの場合 MHL ケーブル）、このオプションを選択します。

YPbPr : HDMI ケーブル（または DisplayPort ケーブル）を使って YPbPr の DVD プレーヤーとコンピューターに接続している場合は（YPbPr の MHL デバイスの場合は MHL ケーブル）、このオプションを選択します。

または DVD（または MHL デバイス）の色出力設定が RGB 以外の場合。



ガンマ **ガンマを PC または MAC に設定することができます。**

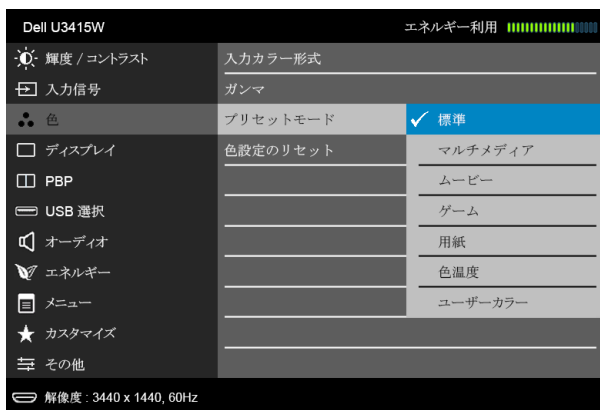


プリセットモード

プリセットモードを選択すると、リストから**標準**、**マルチメディア**、**ムービー**、**ゲーム**、**用紙**、**色温度**、**ユーザーカラー**を選択できます。

- **標準**：モニターのデフォルトの色設定をロードします。これは、デフォルトのプリセットモードです。
- **マルチメディア**：マルチメディアアプリケーションに適した色設定をロードします。
- **ムービー**：ムービーに適した色設定をロードします。
- **ゲーム**：ほとんどのゲームアプリケーションに適した色設定をロードします。
- **用紙**：テキストを表示するのに適した輝度とシャープネスの設定を読み込みます。テキストの背景をブレンドして、カラー画像に影響を与えることなしに紙メディアをシミュレートします。RGB入力形式にのみ適用します。
- **色温度**：次の色温度を選択できます：5000K、5700K、6500K、7500K、9300K、10000K。
- **ユーザーカラー**：色設定を手動で調整します。

▲ と ▼ ボタンを押して3つの色（R、G、B）値を調整し、独自のプリセット色モードを作成します。



色相

この機能により、ビデオ画像の色は緑または紫にシフトします。色相は、望ましいフレッシュな色調を調整するために使用されます。▲

または ▼ を使って色合いを「0」～「100」の範囲で調整します。

▲ を押してビデオ画像の緑の影を増加します。

▼ を押してビデオ画像の紫の影を増加します。

注：「色相」調整は、「ムービー」または「ゲーム」モードでのみ使用できます。

彩度

この機能は、ビデオ画像の色の彩度を調整します。▲ または ▼ を使って彩度を「0」～「100」の範囲で調整します。

▲ を押してビデオ画像のモノクロの外見を増加します。

▼ を押してビデオ画像の色鮮やかな外見を増加します。

注：「彩度」調整は、「ムービー」または「ゲーム」モードでのみ使用できます。

色設定のリセット

モニターの色設定を工場出荷時の設定にリセットします。

ディスプレイ

「ディスプレイ」を使って画像を調整します。



アスペクト比

画像の比率は**ワイド 21:9**、**ワイド 16:9**、**自動サイズ変更**、**1:1**に設定できます。

シャープネス

この機能を使って、画像をよりシャープにまたはソフトにします。

▲ または ▼ を使ってシャープネスを「0」～「100」の範囲で調整します。

動的コントラスト

コントラストレベルを高めて、よりシャープで鮮明な画質に仕上げます。

→ ボタンを押して「動的コントラスト」の「オン」または「オフ」を切り替えます。

注：「動的コントラスト」は「ムービー」または「ゲーム」モードを選択したときに高コントラストを実現します。

応答時間

「応答時間」を「通常」または「高速」に設定できます。

DP 1.1



キーを押して DP 1.1 の有効 / 無効を切り替えます。画面のメッセージに従って、DP 1.2 または DP 1.1a の選択を確認します。

DP MST (デジチェーン) または HBR2 機能を使用するには DP 1.2 を有効にします。

注: DP 1.2 を選択する前に、グラフィックスカードがこれらの機能をサポートできることを確認してください。間違った設定をするとブランクの画面になります。グラフィックスカードによっては、DP 1.2 で MCCS (モニターコントロールコマンドセット) をサポートしないものもあります。こういった場合、DDM (Dell ディスプレイマネージャ) が動作しないことがあります。

統一性補正

スクリーンの統一性補正の設定を選択します。**調整済み**は、デフォルトの工場出荷時に較正された設定です。**統一性補正**は中心に関して画面のさまざまな領域を調整し、画面全体の均一性明るさとカラーを達成します。画面を最適な状態にするために、**統一性補正**がオンになっているとき、一部のプリセットモード (**標準**、**色温度**) の**輝度**と**コントラスト**が無効になります。

注: **統一性補正**がオンになっているとき、輝度を工場出荷時の初期設定に戻すようにお勧めします。他の輝度レベルに設定する場合、統一性補正の性能は出荷時較正レポートに示されたデータから外れることがあります。

ディスプレイ情報

モニターの現在の設定が表示されます。

画面設定のリセット

このオプションを選択して、デフォルトのディスプレイ設定を復元します。



PBP

この機能は別の入力ソースから取り込んだ画像が表示されたウィンドウを映し出します。



メイン ウィンドウ	サブウィンドウ			
	DP	mDP	HDMI	MHL
DP	X	X	✓	✓
mDP	X	X	✓	✓
HDMI	✓	✓	X	✓
MHL	✓	✓	✓	X

注： PBP 下の画像は全画面ではなく、画面の中央に表示されます。

注： PBP/PIP 機能を使用すると、DP MST（デジチェーン）機能が無効になります。

PBP モード有効 PBP（ピクチャーバイピクチャ）モードを PIP（ピクチャインピクチャ）、PBP アスペクト比、PBP フルに調整します。「オフ」を選択すると、この機能が無効になります。

PIP	PBP アスペクト比
PBP フル	オフ

PBP (サブ) PIP/PBP サブウィンドウに用い、モニターに接続できる他のビデオ信号を選択します。

PBP の切り換え PBP モードで USB アップストリーム ソースを切り換えます。

コントラスト (サブ) PIP/PBP モードで画像のコントラスト レベルを調整します。

▲ ボタンを押してコントラストを上げ、▼ ボタンを押してコントラストを下げます。

PIP の位置 PIP サブウィンドウの位置の選択。

▲ または ▼ を使うと参照できます。✔ を使うと、左上、右上、右下、左下の中から選択できます。



USB 選択

リストから USB アップストリーム信号を DP、mDP、HDMI、MHL の中から選択してください。これにより、コンピューターをどちらかのアップストリームポートに繋いであるとき、モニターの USB ダウンストリームポート（キーボードやマウス）を現在の入力信号で使用することができます。

ディスプレイと USB アップストリームポートの接続は、入力ソース機能を選択すると変更できます。

アップストリームポートが1つしかない場合は、接続されているアップストリームポートが有効になります。



注：データの破損や損失を防止するために、USB アップストリームポートを変更する前に、モニターの USB アップストリームポートに接続されているコンピューターが USB ストレージ デバイスを使用していないことを確認してください。

USB 1 → を押すと、USB 1 の入力信号がわかります。

USB 2 → を押すと、USB 2 の入力信号がわかります。



オーディオ



音量 スピーカーの音量を確認できます。

▲ または ▼ を使って、音量レベルを「0」から「100」の範囲で調整します。

オーディオソース メインウィンドウかサブウィンドウからオーディオソースを選択できます。

オーディオ設定のリセット デフォルトの音設定に戻します。



エネルギー



LED 電源ボタン 節電のために、電源 LED インジケータのオン / オフを設定できます。

USB モニターがスタンバイ モードのときに、USB 機能を有効 / 無効にすることができます。





注：スタンバイモードで USB をオン / オフにするには、USB アップストリーム ケーブルを外す必要があります。USB アップストリーム ケーブルが接続されているときには、このオプションはグレー表示され使用することができません。

エネルギー設定のリセット このオプションを選択して、デフォルトの「エネルギー」設定を復元します。



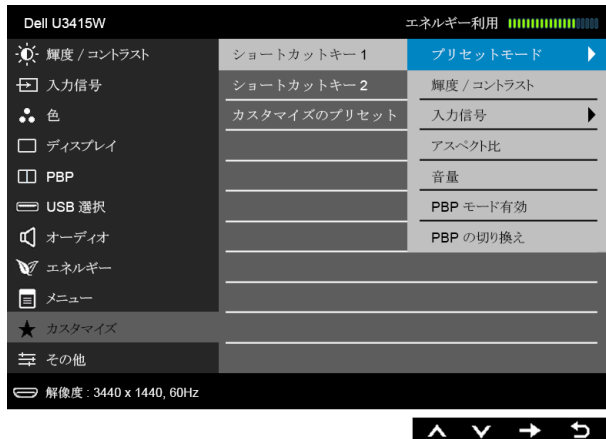
メニュー このオプションを選択して、OSD の言語、メニューが画面に表示されている時間など、OSD の設定を調整します。



言語	OSD ディスプレイを 8 つの言語（英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ブラジルポルトガル語、ロシア語、簡体字中国語、日本語）の 1 つに設定する「言語」オプション。
透明度	このオプションを選択し、最初  または 2 番目の  ボタンを使ってメニュー透明化を変更します（最小：0～最大：100）。
タイマー	OSD Hold Time（OSD 保持時間）：ボタンを最後に押してから OSD が有効になっている時間の長さを設定します。  または  を使ってスライダを 5～60 秒まで、1 秒刻みで調整します。
ロック	ユーザーの調整へのアクセスをコントロールします。「ロック」が選択されているとき、ユーザー調整は許可されません。すべてのボタンがロックされます。 注： ロック解除機能 - ハード解除のみ（電源ボタンの横にあるボタンを 10 秒間押します）。 ロック機能 - ソフトロック（OSD メニューから）かハード機能（電源ボタンの横にあるボタンを 10 秒間押します）。
メニュー設定のリセット	すべての OSD 設定を工場出荷時のプリセット値にリセットします。



カスタマイズ 「プリセットモード」、「輝度 / コントラスト」、「入力信号」、「アスペクト比」、「音量」、「PBP モード有効」、「PBP の切り換え」の中から機能を選択し、ショートカットキーとして設定することができます。





その他



ボタンサウンド メニューで新しいオプションを選択すると、ボタン音が鳴ります。この機能で音を有効 / 無効にできます。

DDC/CI DDC/CI（ディスプレイ データチャンネル / コマンドインターフェイス）により、コンピュータのソフトウェアを介してモニターのパラメーター（輝度、色バランスなど）を調整します。「オフ」を選択することで、この機能を無効にできます。ユーザー体験を最大限に高め、モニターのパフォーマンスを最適にする場合、この機能を有効にします。



LCD コンディショニング

画像保持の微細な問題を軽減します。画像保持の程度によっては、プログラムが実行されるまでに少し時間がかかることがあります。「オン」を選択することで、この機能を有効にできます。



他の設定のリセット 「その他」メニューですべての設定を初期値に戻します。

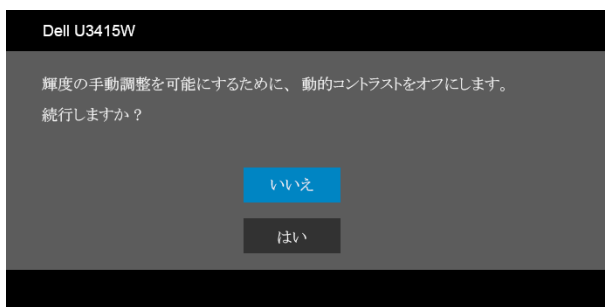
工場リセット すべての設定を工場出荷時のプリセット値にリセットします。



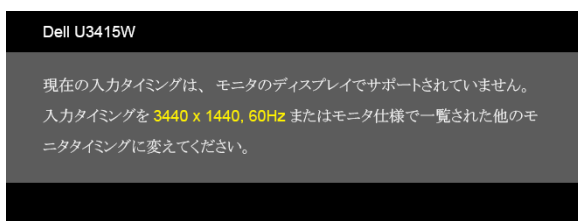
注：このモニターには自動的に輝度を調整して LED の老朽化を補正する機能が内蔵されています。

OSD 警告メッセージ

「動的コントラスト」機能が有効に設定されている場合は（「ゲーム」または「ムービー」などのプリセットモード）、手動輝度調整は無効になります。

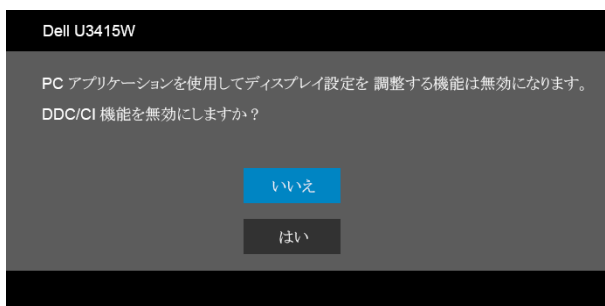


モニターが特定の解像度モードをサポートしていないとき、次のメッセージが表示されます：



これは、モニターがコンピューターから受信している信号と同期できないことを意味します。このモニターが使用できる水平および垂直周波数幅については、[モニター仕様](#)を参照してください。推奨モードは、3440 x 1440 画素です。

DDC/CI 機能が無効になる前に、次のメッセージが表示されます：



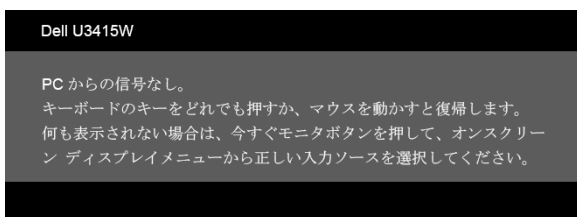
モニターが省電力モードに入ると、次のメッセージが表示されます：



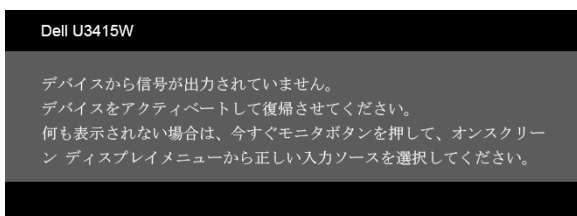
コンピューターを有効にして、モニターを立ち上げ、OSD にアクセスします。

電源ボタン以外のボタンを押すと、選択した入力によって次のメッセージのどれかが表示されます：

HDMI/MHL/Mini DisplayPort/DP 入力



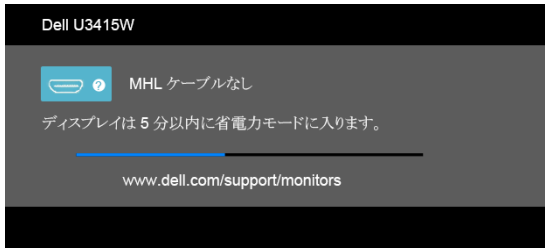
HDMI/MHL 入力



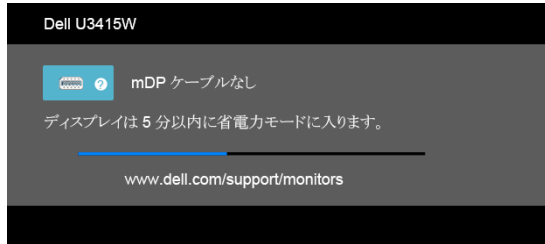
HDMI、MHL、Mini DisplayPort または DP 入力を選択されているが相当するケーブルが接続されていない場合、以下のような浮動ダイアログ ボックスが表示されます。



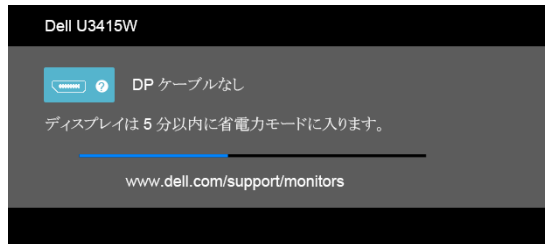
または



または



または



詳細は、[問題を解決する](#)を参照してください。

最大解像度を設定する

モニターの最大解像度を設定するには：

Windows[®] 7、Windows[®] 8、および Windows[®] 8.1：

- 1 Windows[®] 8 および Windows[®] 8.1 専用です。デスクトップ タイルを選択して、クラシック デスクトップに切り替えます。
- 2 デスクトップで右クリック、**画面の解像度**をクリックします。
- 3 画面の解像度のドロップダウン リストをクリックし、**3440 x 1440** を選択します。
- 4 **OK** をクリックします。

Windows® 10 :

- 1 デスクトップ上を右クリックし、**ディスプレイの設定**をクリックします。
- 2 **ディスプレイの詳細設定**をクリックします。
- 3 **解像度**のドロップダウン リストをクリックし、**3440 x 1440** を選択します。
- 4 **適用**をクリックします。

オプションとして 3440 x 1440 がない場合は、グラフィック ドライバを更新する必要があります。コンピューターによっては、以下の手順のいずれかを完了してください :


Dell デスクトップまたはポータブル コンピューターをご使用の場合 :

- <http://www.dell.com/support> に移動し、サービス タグを入力したら、グラフィックス カードの最新ドライバをダウンロードしてください。

Dell 以外のコンピューター（ポータブルまたはデスクトップ）をお使いの場合 :

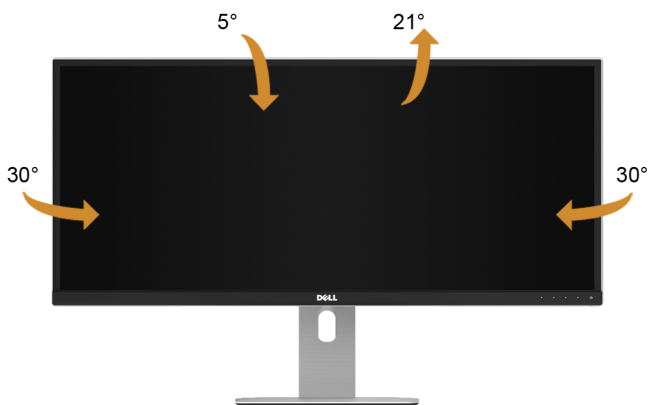
- コンピューターのサポート サイトにアクセスして、最新のグラフィックス ドライバをダウンロードします。
- グラフィックス カード ウェブサイトに進み、最新のグラフィックス ドライバをダウンロードします。


傾け、旋回させ、垂直に伸ばす

 **注 :** これはスタンド付モニターに適用されます。その他のスタンドをご購入頂いた際は、スタンドの設置方法はスタンドセットアップガイドをご参照ください。


傾き、旋回

モニターにスタンドを取り付けると、モニターを最も快適な角度に傾斜させたり、向きを変えたりすることができます。



 **注 :** モニターを工場から出荷するときは、スタンドを取外します。

垂直に伸ばす

 注：スタンドは、垂直に最大 115 mm 伸ばせます。下の図で、伸ばし方を示します。




デュアル モニターの設定

推奨するデュアル モニター設定：

横（横並べ）



問題を解決する

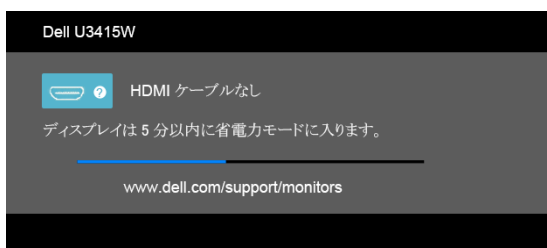
 **警告**：このセクションで手続きをはじめる前に、**安全指示**に従ってください。

自己テスト

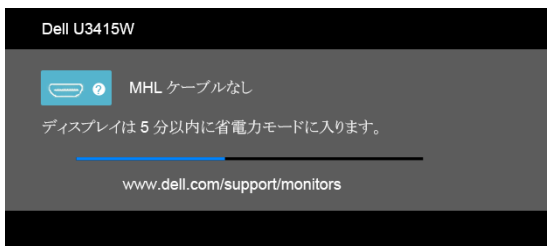
お使いのモニターには、自己テスト機能が装備され、適切に機能しているかどうかを確認できます。モニターとコンピューターが適切に接続されていて、モニタースクリーンが暗い場合は、次の手順でモニター自己テストを実行してください：

- 1 コンピューターとモニター両方の電源をオフにする。
- 2 コンピューターの後ろからビデオ ケーブルを外す。自己テストが適切に運用できるようにするには、コンピューターの後ろからデジタルケーブルを外します。
- 3 モニターの電源をオンにする。

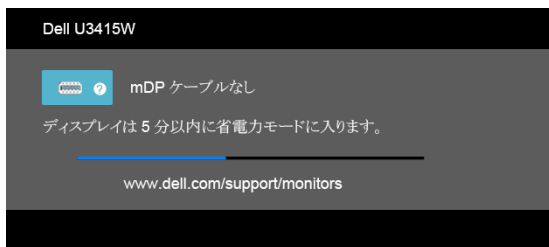
モニターがビデオ信号を検知できないが正しく作動している場合、画面に浮動ダイアログボックスが（黒い背景に）表示されます。自己テストモードでは、電源 LED が白になります。また、選択した入力によって、下に表示されるダイアログの1つが画面上をスクロールし続けます。



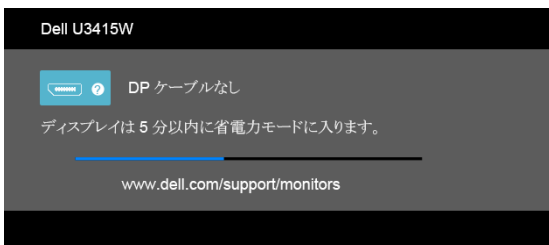
または



または



または




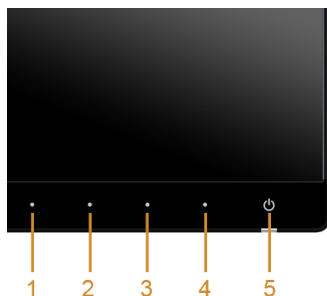
- 4 ビデオ ケーブルが外されているか、または破損している場合、通常システムの運転中、このボックスが表示されます。
- 5 モニターの電源をオフにして、ビデオ ケーブルを再接続し、次にコンピューターとモニター両方の電源をオンにします。

前の手順を行った後もモニター スクリーンに何も表示されない場合、モニターが適切に機能していないため、ビデオ コントローラーおよびコンピューターをチェックしてください。

内蔵診断

モニターには内蔵の診断ツールが付属しており、発生している画面の異常がモニターに固有の問題か、またはコンピューターやビデオ カードに固有の問題かを判断します。

 **注：**内蔵の診断は、ビデオ ケーブルがプラグから抜かれ、モニターが自己テストモードに入っているときのみ、実行できます。



内蔵診断を実行するには、以下の手順に従います：

- 1 画面がきれいであること（または、画面の表面に塵粒がないこと）を確認します。
- 2 コンピューターの後ろからビデオ ケーブルを外します。モニターが自己テスト モードに入ります。
- 3 正面パネルの**ボタン 1**と**ボタン 4**を2秒間同時に押し続けます。グレイの画面が表示されます。
- 4 画面に異常がないか、慎重に検査します。
- 5 正面パネルの**ボタン 4**を再び押します。画面の色が赤に変わります。
- 6 ディスプレイに異常がないか、検査します。
- 7 ステップ5と6を繰り返して、緑、青、黒、白い画面、およびテキスト画面についてもディスプレイを検査します。

テキスト画面が表示されると、テストは完了です。終了するには、**ボタン 4**を再び押します。

内蔵の診断ツールを使用しているときに画面に異常が検出されない場合、モニターは適切に作動しています。ビデオ カードとコンピューターをチェックしてください。

よくある問題

次の表には、発生する可能性のあるモニターのよくある問題と考えられる解決策に関する一般情報が含まれます：

一般的な症状	発生した問題	実行可能な解決策
ビデオなし / 電源 LED オフ	画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none">● コンピューターにモニターを接続しているビデオ ケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。● 他の電気機器を使用して、コンセントが正しく機能していることを確認します。● 電源ボタンが完全に押されていることを確認します。● 入力信号メニューにより適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。
ビデオなし / 電源 LED オン	画像なし、または輝度がない	<ul style="list-style-type: none">● OSD によって、輝度とコントラストコントロールを増加します。● モニター自己診断テスト機能チェックを実行します。● ビデオ ケーブル コネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。● 内蔵診断を実行します。● 入力信号メニューにより適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。
フォーカスが弱い	画像が不鮮明か、ぼやけているか、または薄れている	<ul style="list-style-type: none">● ビデオ拡張ケーブルを外します。● モニターを工場出荷時設定にリセットします。● ビデオ解像度を正しいアスペクト比に変更します。

ビデオが揺れたり / ずれたりする	画像が波打ったり、微妙にぶれる	<ul style="list-style-type: none"> ● モニターを工場出荷時設定にリセットします。 ● 環境係数をチェックします。 ● モニターの場所を変えて、他の部屋でテストします。
ピクセルが抜けている	LCD スクリーンに点が入る	<ul style="list-style-type: none"> ● サイクル電源オン - オフ。 ● 永久的にオフになっているピクセルがありますが、これは LCD テクノロジーに固有の欠陥です。 ● Dell 社のモニターの品質とピクセルに関する方針の詳細、詳細については、Dell サポート (http://www.dell.com/support/monitors) を参照してください。
ドット落ち	LCD スクリーンに明るい点が入る	<ul style="list-style-type: none"> ● サイクル電源オン - オフ。 ● 永久的にオフになっているピクセルがありますが、これは LCD テクノロジーに固有の欠陥です。 ● Dell 社のモニターの品質とピクセルに関する方針の詳細、詳細については、Dell サポート (http://www.dell.com/support/monitors) を参照してください。
輝度の問題	画像が薄すぎるか、明るすぎる	<ul style="list-style-type: none"> ● モニターを工場出荷時設定にリセットします。 ● OSD によって、輝度とコントラストコントロールを調整します。
幾何歪曲	スクリーンが正確にセンタリングされていない	<ul style="list-style-type: none"> ● モニターを工場出荷時設定にリセットします。 ● OSD を使用して水平方向と垂直方向のコントロールを調整する。
水平 / 垂直ライン	スクリーンに複数の線が入る	<ul style="list-style-type: none"> ● モニターを工場出荷時設定にリセットします。 ● モニター自己テスト機能チェックを行い、これらの線が自己テストモードでも入るかどうかを確認します。 ● ビデオ ケーブル コネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。 ● 内蔵診断を実行します。
同期化の問題	スクリーンがスクランブル状態か、磨り減って見える	<ul style="list-style-type: none"> ● モニターを工場出荷時設定にリセットします。 ● モニター自己テスト機能チェックを行い、スクランブル状態のスクリーンが自己テストモードでも入るかどうかを確認します。 ● ビデオ ケーブル コネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。 ● セーフモードでコンピューターを再起動します。
安全関連問題	スモークまたはスパークの明らかな症状	<ul style="list-style-type: none"> ● トラブルシューティング手順を実行しないでください。 ● 直ちに Dell にご連絡ください。
断続的問題	モニターの誤作動をオンおよびオフ	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピューターにモニターを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。 ● モニターを工場出荷時設定にリセットします。 ● モニター自己テスト機能チェックを行い、断続的問題が自己テスト・モードでも発生するかどうかを確認します。

色が欠けている	画像の色が欠けている	<ul style="list-style-type: none"> ● モニター自己診断テスト機能チェックを実行します。 ● コンピューターにモニターを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。 ● ビデオ ケーブル コネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。
色違い	画像の色が正しくない	<ul style="list-style-type: none"> ● アプリケーションによって、「色」メニュー OSD の「プリセットモード」の設定を変更します。 ● 「色」メニュー OSD の「ユーザーカラー」で R/G/B 値を調整してください。 ● 「色」メニュー OSD で、「入力カラー形式」を PC RGB または YPbPr に変更します。 ● 内蔵診断を実行します。
長時間モニターに静止画像を表示したために起こる画像の焼き付き	表示された静止画像のかすかな影が画面に表示される	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用していないとき、電源管理機能を使って、常にモニターの電源をオフにしてください（詳細については、電源管理モードを参照してください）。 ● または、動的に変わるスクリーンセーバーを使用します。

製品特有の問題

特定の症状	発生した問題	実行可能な解決策
スクリーン画像が小さい	画像がスクリーン上でセンタリングされているが、全表示領域を満たしていない	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ディスプレイ」メニュー OSD で、「アスペクト比」設定を確認します。 ● モニターを工場出荷時設定にリセットします。
正面パネル上のボタンで、モニターを調整できない	OSD がスクリーン上に表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● モニターの電源をオフにして、電源コードを外し、もう一度コードを差して、電源を入れます。 ● OSD メニューがロックされているかどうか確認します。ロックされている場合は、電源ボタンの横にあるボタンを 10 秒間押し続けるとロック解除できます。ロックを表示してください。
ユーザコントロールを押しても入力信号がない	画像が表示されず、LED が白く点灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 信号ソースをチェックします。マウスを動かすかキーボードのどれかのキーを押して、コンピューターが省電力モードに入っていないことを確認します。 ● 信号ケーブルが正しく差し込まれているかどうかをチェックします。必要に応じて、信号ケーブルを差し込み直してください。 ● コンピューターまたはビデオプレーヤーを再起動します。
ピクチャが画面全体に表示されない	ピクチャを画面の高さまたは幅いっぱいに表示できない	<ul style="list-style-type: none"> ● DVD の異なるビデオ形式により、モニターが全画面で表示できないことがあります。 ● 内蔵診断を実行します。

ユニバーサル シリアル バス (USB) 特有の問題

特定の症状	発生した問題	実行可能な解決策
USB インターフェースが作動していない	USB 周辺機器が作動していない	<ul style="list-style-type: none">● モニターの電源がオンになっているかをチェックします。● アップストリーム ケーブルをコンピューターに再接続します。● USB 周辺機器（ダウストリーム コネクタ）を再接続します。● 電源をオフにして、もう一度モニターをオンにします。● コンピューターを再起動します。● 外付けポータブル HDD のような一部の USB デバイスは、高い電流を必要とすることがあります。デバイスをコンピューターシステムに直接接続してください。● 2 台のアップストリーム接続を使用しているときには、1 台のアップストリーム USB ケーブルは外しておいてください。
高速 USB 3.0 インターフェースが遅い	高速 USB 3.0 周辺機器が遅いか、まったく作動しない	<ul style="list-style-type: none">● コンピューターが USB 3.0 対応かどうかをチェックします。● コンピューターの中には、USB 3.0、USB 2.0 と USB 1.1 ポートの両方を搭載しているものもあります。正しい USB ポートを使用されていることを確認してください。● アップストリーム ケーブルをコンピューターに再接続します。● USB 周辺機器（ダウストリーム コネクタ）を再接続します。● コンピューターを再起動します。
ワイヤレス マウスが作動しない、または反応が遅い	まったく反応しない、または反応が遅い	<ul style="list-style-type: none">● USB 3.0 周辺機器とワイヤレス USB 受信装置の距離をあげます。● ワイヤレス USB 受信装置とワイヤレス マウスの距離をできるだけ短くしてください。● USB 延長ケーブルを使って、ワイヤレス USB 受信装置をできるだけ USB 3.0 ポートから遠ざけてください。


Mobile High-Definition Link (MHL) 特有の問題

特定の症状	発生した問題	実行可能な解決策
MHL インターフェイスが作動していない	MHL デバイスの画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none">• MHL ケーブルと MHL デバイスが MHL 認証のものであるか確認してください。• MHL デバイスがオンになっているか確認してください。• MHL がスタンバイ モードになっていないか確認してください。• 実際の MHL ケーブルなどの接続が OSD メニューで選択した入力ソースに対応しているか確認してください (例 : MHL)。• MHL デバイスの中には復帰に時間を要するものがありますので、MHL ケーブルに接続した後、30 秒ほどお待ちください。

スピーカー特有の問題

特定の症状	発生した問題	実行可能な解決策
スピーカーから音が出ない	音が聞こえない	<ul style="list-style-type: none">• モニターの電源を切り、一旦モニターの電源コードを抜いてからもう一度差し込んでください。その後で、再びモニターをオンにします。• オーディオ ケーブルが正しくコンピューター オーディオ出力ポートに接続されているか確認してください。• オーディオ出力ポートからオーディオケーブルを外します。• モニターを工場出荷時設定にリセットします。

警告：安全指示

 **警告：** このマニュアルで指定された以外のコントロール、調整、または手順を使用すると、感電、電氣的障害、または機械的障害を招く結果となります。


安全についての説明は、安全、環境および規制情報 (SERI) をご覧ください。

米国連邦通信委員会 (FCC) 通告（米国内のみ）およびその他規制に関する情報

米国連邦通信委員会 (FCC) 通告（米国内のみ）およびその他規制に関する情報に関しては、規制コンプライアンスに関するウェブページ www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。

Dell へのお問い合わせ

米国のお客様の場合、800-WWW-DELL (800-999-3355) にお電話ください。

 **注：** インターネット接続をアクティブにしていない場合、仕入送り状、パッキングスリップ、請求書、または Dell 製品カタログで連絡先情報を調べることができます。

Dell では、いくつかのオンラインおよび電話ベースのサポートとサービス オプションを提供しています。利用可能性は国と製品によって異なり、お客様の居住地域によってはご利用いただけないサービスもあります。

オンライン モニター サポートを読むには：

- 1 www.dell.com/support/monitors にアクセスします。

Dell の販売、技術サポート、または顧客サービス問題に連絡するには：

- 1 www.dell.com/support にアクセスします。
- 2 ページ下部の **国 / 地域の選択** ドロップダウン メニューで、居住する国または地域を確認します。
- 3 ページ左側の **連絡先** をクリックします。
- 4 必要に応じて、適切なサービスまたはサポート リンクを選択します。
- 5 ご自分に合った Dell への連絡方法を選択します。

モニターのセットアップ

ディスプレイ解像度を設定する

Microsoft® Windows® オペレーティング システムを使用している間最適のディスプレイ パフォーマンスを達成するには、次のステップを実行してディスプレイ解像度を **3440 x 1440** 画素 :

Windows® 7、Windows® 8、および Windows® 8.1 :

- 1 Windows® 8 および Windows® 8.1 専用です。デスクトップ タイルを選択して、クラシック デスクトップに切り替えます。
- 2 デスクトップで右クリック、**画面の解像度** をクリックします。
- 3 画面の解像度のドロップダウン リストをクリックし、**3440 x 1440** を選択します。
- 4 **OK** をクリックします。

Windows® 10 :

- 1 デスクトップ上を右クリックし、**ディスプレイの設定** をクリックします。
- 2 **ディスプレイの詳細設定** をクリックします。
- 3 **解像度** のドロップダウン リストをクリックし、**3440 x 1440** を選択します。
- 4 **適用** をクリックします。

オプションとして推奨解像度が表示されない場合、グラフィックス ドライバを更新する必要があります。ご使用中のコンピューター システムをもっとよく説明するシナリオを以下から選択し、示される指示に従ってください。

インターネットにアクセスして Dell™ デスクトップ コンピューターまたは Dell™ ノート PC を使用している場合

- 1 www.dell.com/support に移動し、サービス タグを入力したら、グラフィックス カードの最新ドライバをダウンロードしてください。
- 2 グラフィックス アダプタのドライバをインストールした後、解像度を再び **3440 x 1440** 画素に設定します。



注： 解像度 3440 x 1440 に設定できない場合、Dell™ に連絡してこれらの解像度をサポートするグラフィックスアダプタを調べてください。

非 Dell™ デスクトップ コンピューター、ノート PC、またはグラフィック カードを使用している場合

Windows® 7、Windows® 8、および Windows® 8.1 :

- 1 Windows® 8 および Windows® 8.1 専用です。デスクトップ タイルを選択して、クラシック デスクトップに切り替えます。
- 2 デスクトップ上で右クリック、**個人用設定** をクリックします。
- 3 **ディスプレイの設定の変更** をクリックします。
- 4 **詳細設定** をクリックします。

- 5 ウィンドウ上部の説明から、グラフィックス コントローラ サプライヤを確認します (NVIDIA、ATI、Intel など)。
- 6 更新されたドライバについては、グラフィックカードプロバイダの web サイトを参照してください (たとえば、<http://www.ATI.com> または <http://www.NVIDIA.com>)。
- 7 グラフィックス アダプタのドライバをインストールした後、解像度を再び **3440 x 1440** 画素に設定します。

Windows® 10 :

- 1 デスクトップ上を右クリックし、**ディスプレイの設定**をクリックします。
- 2 **ディスプレイの詳細設定**をクリックします。
- 3 **解像度**のドロップダウン リストをクリックし、**3440 x 1440** を選択します。
- 4 ウィンドウ上部の説明から、グラフィックス コントローラ サプライヤを確認します (NVIDIA、ATI、Intel など)。
- 5 更新されたドライバについては、グラフィックカードプロバイダの web サイトを参照してください (たとえば、<http://www.ATI.com> または <http://www.NVIDIA.com>)。
- 6 グラフィックス アダプタのドライバをインストールした後、解像度を再び **3440 x 1440** 画素に設定します。



注：推奨解像度を設定できない場合は、コンピューターの製造元にお問い合わせになるか、ビデオ解像度をサポートするグラフィックスアダプターの購入をご考慮ください。